

## 1. 調査概要

---

### 1. 1 調査目的

総合型地域スポーツクラブにおける障害者のスポーツ・レクリエーション活動の実情やニーズを明らかにすることによって、地域における健常者と障害者が一体となったスポーツ・レクリエーション活動の充実方策に資するデータの把握及び分析を行う。

### 1. 2 調査対象

総合型地域スポーツクラブ全国協議会(SC 全国ネットワーク)に加入している 47 都道府県の総合型地域スポーツクラブ(1,840 クラブ)を対象とした。ただし、兵庫県については、県内の 833 クラブの中から無作為抽出により、20 クラブを対象とした。

### 1. 3 調査方法及び回収結果

#### 【調査 1】質問紙調査

##### (1) 調査方法

記名式の質問紙調査

回答は、郵送、インターネット、電子メールで受け付けた。

##### (2) 調査内容

###### ◆ 障害者の参加状況

障害の種類、障害の程度、障害者用及びアダプテッドスポーツプログラムの有無  
障害者が参加している種目 など

###### ◆ 障害者の参加に関するクラブマネジメント

会費の割引の有無、他の組織との連携及び支援の有無、ボランティアの確保の有無  
行政からの支援の有無、障害者の参加にかかる取り組みや工夫 など

###### ◆ 障害者のための指導者配置状況

指導者の概数、障害者スポーツを指導している指導者の概数、日本障害者スポーツ協会の資格  
を持っている指導者の概数

###### ◆ 障害者の参加にかかる課題

##### (3) 回収結果

回収数は 969 件(回収率:52.7%)であった。

##### (4) 調査期間

2012 年 6 月 18 日(月)～7 月 31 日(火)

## (5) 二次的利用データ

### 「文部科学省総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」

会員数、予算額、設立年度、クラブマネージャー数、常勤スタッフ数などのクラブの属性は「平成 23 年度文部科学省総合型地域スポーツクラブ活動状況調査」(回収数 2,630、回収率 97.4%、3 県を除く)のデータを二次的に利用し、本調査で回答が得られた 969 クラブの結果と比較した。ただし、平成 23 年東日本大震災により調査を実施できなかった岩手県、宮城県、福島県については平成 22 年度調査のデータを使用した。無回答およびクラブ名が一致しないデータは欠損データとした。

## 【調査 2】事例調査(ヒアリング調査)

### (1) 調査方法

質問紙調査の回答をもとに、障害者の参加があるクラブについて事例調査を行った。本調査研究担当者がクラブマネージャーおよび指導者に対して聞き取りにより調査を実施し、9 件のクラブの事例をまとめた。

### (2) 調査内容

クラブの概要、障害者の参加経緯、参加している障害者の種別および種目、介助者の有無、指導上の工夫、連携・支援先の有無と内容など

### (3) 調査期間

2012 年 9 月～2013 年 2 月